

科学的発見のための質問づくりの手法

50分Verの例

3年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

以下の各手順の時間はだいたいの目安です。

手順1 質問の焦点を知る。(10分)

手順2 質問をつくる。(10分)

(1) 自分たちの質問を出す。

自分たちの質問を出すための4つのルール

- ①できるだけたくさんの質問をする。
- ②話し合ったり、評価したり、答えを言ったりしない。
- ③発言のとおり質問を書き出す。(記録係を一人決め、その人が全ての質問を書き出す。)
- ④肯定文として出されたもの、意見や主張は疑問文になおす。

(2) 出した質問を改善する。(10分)

- ①閉じた質問と開いた質問を分類する。

◇閉じた質問 (closed question)

→「はい」か「いいえ」、もしくは簡単な言葉で答えられるもの。答えが一つに決まるもの。

◇開いた質問 (open question)

→説明が必要なもので、「はい」か「いいえ」、もしくは簡単な言葉で答えられないもの。答えが何通りもあるもの。自分の考えを表現できるもの。

?これらの質問の「長所」と「短所」は何だろうか?

(3) 質問の優先順位をつける。(5分)

出した質問リストから優先順位の高い質問を、理由とともに3つ選ぶ。

手順3 共有と次のステップを話し合う。(15分)

選んだ質問をどのように使うか?について考える。

3年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

質問の焦点「 」

今日の問題づくりで選んだ3つの問いを記録します。

上記の3つ以外に気になった問いがあればメモしておきましょう。

--

振り返り

今日の授業での学び	今日の授業での感想